

[子どものリハビリテーション –発達障害、運動統合障害、肢体不自由児]

■本年度は、発達障害、運動統合障害、肢体不自由児の「観察(病態分析)」と「治療(実技)」を中心に講義・演習します。

1日目 2018年6月9日(土)

[子どもの認知神経リハビリテーション入門]

09:30- 受付開始

09:50- オリエンテーション

10:00-10:50 (香川) 講義1) 発達障害の子どもたち

- ・発達障害とは何か?
- ・発達障害の定義と分類、その特徴
- ・発達障害のリハビリテーションの現状と問題点
- ・子どもの声を聴く

10:50-11:30 (宮本) 講義2) 運動スキルの発達

- ・運動スキルの病態
- ・脳のミラー・ニューロン、形態模倣、意図模倣
- ・学習の転移(transfer of learning)の困難性

11:30-12:20 (宮本) 講義3) 認知神経理論

- ・発達心理学的視点 (Piaget, Vygotsky, Bruner)
- ・小児の認知運動療法 (Perfetti, Puccini, Ise)
- ・"身体化された認知"を育てる

[子どもの認知神経リハビリテーションの臨床1]

13:20-14:00 (木村) 講義4) ヴィゴツキーセンター (Pisa, Italia) の臨床

14:00-15:20 (木村) 講義5) 肢体不自由児の病理とは何か?

- ・症例に対する認知神経リハビリテーションの実際
- ・ふるまいの観察と解釈

15:30-17:00 (木村) 演習1) 肢体不自由児の臨床

- ・視覚探索
- ・目と手の協調
- ・座位
- ・歩行

18:00- レセプション

2日目 2018年6月10日（日）

[子どもの認知神経リハビリテーションの臨床2]

9:30-11:00（高橋） 講義6）運動統合障害（Dyspraxia）とは何か？

- ・Dyspraxiaの臨床像と病理
- ・表象（行為・映像・言語）
- ・Dyspraxiaの臨床(映像による治療場面の紹介)

11:00-12:30（高橋） 演習2）運動統合障害児の模倣検査

- ・評価プロトコール（模倣検査の実際）

[子どもの認知神経リハビリテーションの臨床3]

13:30-14:30（宮本） 講義7）こどもの言語とリハビリテーション

- ・こどもの言語と意味世界
- ・言語と志向性
- ・対話におけるテーマとレーマ

14:30-15:30（高橋） 講義8）Dyslexia（発達性読み書き障害）に対する認知神経リハビリテーション

- ・Dyslexiaの臨床像と病理
- ・Dyslexiaへの治療介入

[未来への提言]

15:30-16:00（香川） 講義9）子どもたちの未来のために

- ・子どものリハビリテーションに取り組むセラピストへの提言
- ・医療、福祉制度、行政

終了